



森下商事株式会社

環境経営レポート (令和5年度)

このレポートの対象期間
令和5年8月1日～令和6年7月31日

発行日 令和 7年 3月4日

I 環境経営方針

基本理念

私たちは、事業活動を通して、地域と地球の環境保全に貢献します

当社は、水道工事・水回りリフォーム工事、ガス・灯油の販売事業活動の中で、社員一人一人が環境負荷の削減と、経営効率の向上を継続的に取り組むことにより、地球環境の改善と向上に努めます。

1、事業活動の中で環境に及ぼす下記の環境負荷を低減します。

- ①二酸化炭素の排出量削減 電気使用量の削減
化石燃料使用の効率化
- ②産業廃棄物排出量の削減 材料の再利用・再生利用
- ③水道使用量の削減 事務所内の水道使用量の削減

2、環境に配慮した商品の情報提供、販売に努めます。

- ①環境にやさしいエコジョーズなどの高効率給湯器の拡販に努めます。
- ②節水型トイレや高断熱型風呂などの水回り商品の拡販に努めます。

3、環境関連法規制等の遵守

環境関連法規制等を遵守し、法規制に対し安心感のある企業を目指します。

制定年月日 平成19年11月24日

改定年月日 令和元年 8月 1日

森下商事株式会社
代表取締役社長 森下 真琴

Ⅱ 会社の概要

(1) 事業所名

森下商事株式会社
代表取締役社長 森下 真琴

(2) 所在地

本社 : 静岡県島田市金谷栄町346-6
お客様サロンEne : 静岡県島田市金谷栄町346-7
資材置場 : 静岡県島田市金谷二軒屋1264-3

(3) 環境活動の担当者連絡先(環境管理責任者)、ea21担当者

工事部第1課 部長代理 谷川 仁士、塚本 亜佳音
TEL 0547-46-2121
FAX 0547-46-2123
Email:kanri3@moririn.info ・ energy3@moririn.info

(4) 事業概要

水道工事業
給排水衛生設備工事
高圧ガスの販売 消第43号～5号
高圧ガス器具及び設備機器の販売及び配管
特定建設業 静岡県知事許可(特-6)第25867号
(令和6年5月28日～令和11年5月27日)
①土木工事業②建築工事業 ③とび・土工工事業
④管工事業 ⑤水道施設工事業
液化石油ガス販売業者 消第54号～25号(登録番号 22C2725)
不動産業 (7)第10590号

(5) 事業の規模

資本金 2000万円
売上高7,100万円[令和5年8月～令和6年7月の期間の売上実績]
全従業員数 19名(内3名役員)
敷地面積 2328.92㎡
事業年度 8月1日から翌年7月31日まで

Ⅲ 対象範囲(認証・登録範囲)

(1) 対象組織

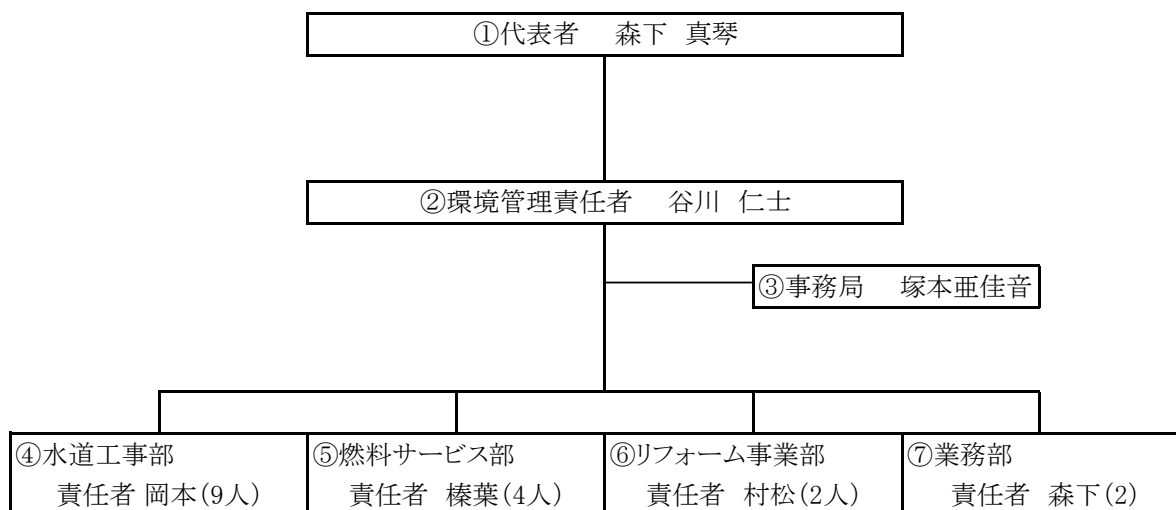
森下商事株式会社(全社で取得)、本社、お客様サロンEne、資材置場

(2) 対象活動

建設業(管工事、水道施設工事)、リフォーム工事
高圧ガスの販売
高圧ガス器具・設備機器の販売及び配管工事
不動産業

森下商事株式会社

エコアクション21 実施体制



各自の役割、責任と権限

NO	各自の役割、責任と権限	環境改善への取組み対象
①	代表者 1) 環境経営方針を定める 2) 環境管理責任者を指名する 3) 資源(人材、資金、技術等)を準備する 4) システム全体の評価と見直し・指示 5) 実施体制を構築し、従業員に周知徹底	・全てのインプット、アウトプットの監視 ・全体の評価と見直し・指示
②	環境管理責任者 1) システムの総責任者としての役割・権限を他の責任に関わらず持つ 2) システムの活動の実績を代表者に報告する	・各現場へ提供するLPガスボンベ、配管機材 ・エコジョーズ及び関連商品の情報提供・販売推進
③	事務局 1) 業務活動において取扱う環境負荷対象物の管理と削減の啓発活動を推進 2) エコアクションレポート作成	・電力・ガソリン・紙・ごみ・水の実態把握 ・購入量、使用量の削減 ・ごみ削減と再利用化の推進 ・データ集計 問題点の把握と是正の実施
④	水道工事事務部 1) 分別回収・再利用の推進 2) 自動車移動時の燃費管理と削減化	・邸名ごと納入する水道関連商品の適正化 ・各自管理車の燃費向上
⑤	燃料サービス部 1) 分別回収・再利用の推進 2) 自動車移動時の燃費管理と削減化 3) 環境に配慮した商品の情報提供	・各現場へ提供するLPガスボンベ、配管機材 ・各自管理車の燃費向上 ・エコジョーズ及び関連商品の情報提供・販売推進
⑥	リフォーム事業部 1) 分別回収・再利用の推進 2) 自動車移動時の燃費管理と削減	・邸名ごと納入する商品の適正化 ・各自管理車の燃費向上
⑦	業務部 1) 業務活動において取扱う環境負荷対象物の管理と削減 2) 自動車移動時の燃費管理と削減	・電力・ガソリン・紙・ごみ・水の実態把握 ・購入量、使用量の削減 ・ごみ削減と再利用化の推進

Ⅳ 環境経営目標（中期目標と単年度目標）

1 環境負荷の低減

令和8年度までの期間中、下記の目標を掲げて推進する。（令和元年度を基準）

①二酸化炭素排出量削減目標 (会社全体の二酸化炭素排出量)	単位	基準	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	kg-CO2	57,752	57,463	57,174	56,886	56,597
			-0.5%	-1.0%	-1.5%	-2.0%

※排出係数 0.476

②電力使用量	単位	基準	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	kg-CO2	9,940	9,890	9,841	9,939	9,741
			-0.5%	-1.0%	-1.5%	-2.0%

※排出係数 0.476

③化石燃料使用の効率化	単位	基準	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	(km/L)	11.30	11.30	11.30	11.30	11.30
			現状維持	現状維持	現状維持	現状維持

給油時に走行距離をレシートに記入し満タン法で燃費を把握する。

令和元年度の実績の燃費(km/L)を基準とし燃費改善目標を設定する。

④社用車と現場で使うガソリン使用量	単位	基準	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	L	14,501	14,501	14,501	14,501	14,501
			現状維持	現状維持	現状維持	現状維持

⑤社用車と現場で使う軽油使用量	単位	基準	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	L	4,585	4,585	4,585	4,585	4,585
			現状維持	現状維持	現状維持	現状維持

⑥産業廃棄物排出量 (混合廃棄物処理量)	単位	基準	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	t	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
			現状維持	現状維持	現状維持	現状維持

資源と廃棄物を分ける判断基準を設け、再利用出来る物のつについては収集し再利用。

⑦水道使用量	単位	基準	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	t	374	372	370	368	367
			-0.5%	-1.0%	-1.5%	-2.0%

2 環境に配慮した商品の情報提供、販売に努めます。

①エコジョーズ (省エネ型給湯器)	単位	基準	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	台	59	53	53	53	53
			9割以上維持	9割以上維持	9割以上維持	9割以上維持

②節水型トイレ	単位	基準	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	台	48	43	43	43	43
			9割以上維持	9割以上維持	9割以上維持	9割以上維持

③高断熱風呂	単位	基準	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	台	2	2	2	2	2
			現状維持	現状維持	現状維持	現状維持

V 環境経営計画及び実績・取組結果とその評価(令和5年8月1日～令和6年7月31日)

1. 環境負荷の低減

① 二酸化炭素排出量0.5%削減

取組目標	活動計画	責任者	具体策	低評価理由	評価		次年度目標	次年度取組計画の内容
					上期	下期		
電気抑制	事務所・倉庫内の不要電力対策、消灯の徹底 エアコンの設定温度の遵守 月1回フィルター清掃	塚本	朝礼による徹底 各自不要時消灯を実施する スイッチ付近に設定温度の表示 使用時期は1ヶ月毎にフィルター清掃	フィルター清掃は年2回に留まる	◎	◎	10238 kg-CO2	電気抑制 事務所・倉庫内の不要電力対策、消灯の徹底 エアコンの設定温度の遵守 月1回フィルター清掃
					◎	◎		
化石燃料の効率化	各社用車燃費の把握 社用車のエコ運転徹底 GHP設定温度の遵守	綾部 谷川 塚本	3ヶ月ごとに社用車の燃費を確認 発進前のアイドリングストップの徹底 不要荷物の削減 設定温度の表示	不要な荷物の積載がある	○	○	11.30km/L	社用車燃費改善目標設定 社用車のエコ運転徹底 車両の整理整頓の徹底 GHP設定温度の遵守
					×	×		
					◎	◎		

② 産業廃棄物(一般廃棄物の取組を含む)排出量 現状維持

取組目標	活動計画	責任者	具体策	低評価理由	評価		次年度目標	次年度取組内容
					上期	下期		
分別回収の徹底	塩ビ廃材の整理整頓	谷川	塩ビ材の分別処理		◎	◎	15.0t	継続する
廃棄物の削減	再利用の推進・廃材の削減	谷川	塩ビパイプ・カサ上げ材や金属ゴミ等を再資源化ゴミとして扱い、基準を設けて分別を実行する		◎	◎		
一般廃棄物の削減	ゴミ排出量の削減	塚本	ゴミを出す時量をノートに記入し把握する		◎	◎		
紙使用量の削減	縮小コピー・裏紙使用	塚本	分別収集にてリユースする サイズ別に分類し社内閲覧用資料は裏紙を使用する		◎	◎		

③ 水道使用量 現状維持

取組目標	活動計画	責任者	具体策	低評価理由	評価		次年度目標	次年度取組内容
					上期	下期		
使用量の削減	意識の徹底	塚本	貼紙にて意識の徹底 検針毎の水道使用量の把握		◎	◎	378㎡	使用量の現状維持

2 環境に配慮した商品の情報提供・販売

取組目標	活動計画	責任者	具体策	低評価理由	評価		次年度目標	次年度取組内容
					上期	下期		
情報の提供・情報誌配布	エコジョーズ・節水型トイレ・高断熱型風呂等の販売推進 顧客に環境配慮商品の情報提供 感謝祭の実施	榛葉	エコジョーズや節水トイレなどを積極的に提案する ホームページやイベントを通し関連商品の情報提供 ショールームにて商品の情報提供イベント等の開催		×	×	エコジョーズ 37台 節水型トイレ 51台 高断熱型風呂 7台	エコジョーズ・節水型トイレ・高断熱型風呂等の販売推進 顧客に環境配慮商品の情報提供・配布 お客様感謝祭を開催した
					◎	◎		
					◎	◎		
					◎	◎		
チラシの作成・配布	顧客に環境配慮商品の情報提供・配布	塚本	毎月発行する情報誌に4ヶ月に1度エコジョーズ及び関連商品の紹介を設け配布する		◎	◎		島田市全域に毎月新聞チラシを折り込む

VI 環境経営目標の達成状況と評価

1 環境負荷の低減

① 二酸化炭素排出量削減（会社全体の二酸化炭素排出量合計 51036.50kg-CO₂）

* 会社全体の二酸化炭素排出量

二酸化炭素排出量	単位	基準	R3年度		R4年度		R5年度	
	kg-CO ₂	57,752	目標	実績	目標	実績	目標	実績
			59,484	56,170	59,485	51,037	57,463	49,240
目標達成率			106%		117%		117%	
評価			◎		◎		◎	

※ 排出係数は0.476を使用

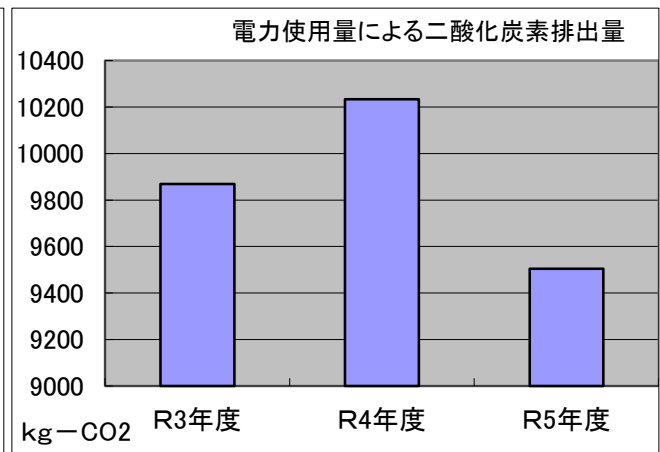
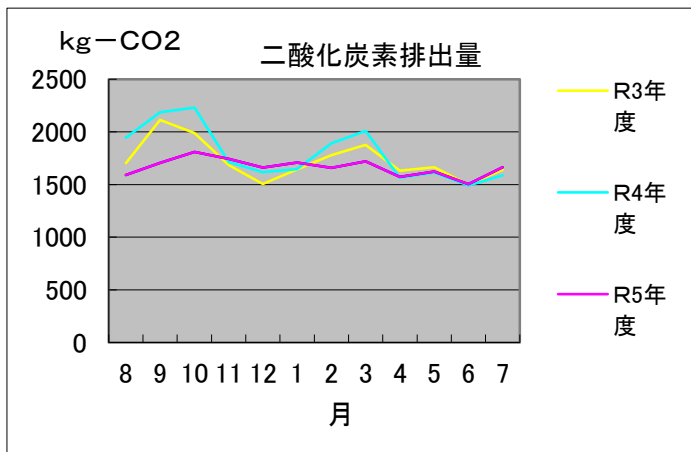
* 上記の評価は目標達成率が95%未満は× 95%以上100%未満は△ 100%以上105%未満は○ 105%以上は◎とする

* 電力使用量削減

電力使用量	単位	基準	R3年度		R4年度		R5年度	
	kg-CO ₂	9,940	目標	実績	目標	実績	目標	実績
			10,238	9,868	10,238	10,234	9,890	9,504
目標達成率			104%		100%		104%	
評価			○		○		○	

※ 排出係数は0.476を使用

* 上記の評価は目標達成率が95%未満は× 95%以上100%未満は△ 100%以上105%未満は○ 105%以上は◎とする



取組実績

- ① 比較的明るい場所や普段使用頻度が少ない場所の蛍光灯を外し積極的に電気使用量を抑制すると共に、自然光の利用を心掛けた。
- ② エアコンは暖房時『設定温度暖房22度』と冷房時『設定温度冷房28度』とステッカーをスイッチ付近に表示した。
- ③ 人の居ない場所の消灯を徹底した。パソコンは使用していない時には自動的に電源が切れたり省電力モードになる様設定を変更した。
- ④ 働き方改革による労働実働日の削減や、仕事の効率化による夜間の残業時間減少に伴い、電気使用量を抑えることができた。
- ⑤ 照明器具のLED化をすすめた。
- ⑤ 令和5年2月末に事務所用のGHPを更新し温室効果ガスの削減に取り組んだ。

結果

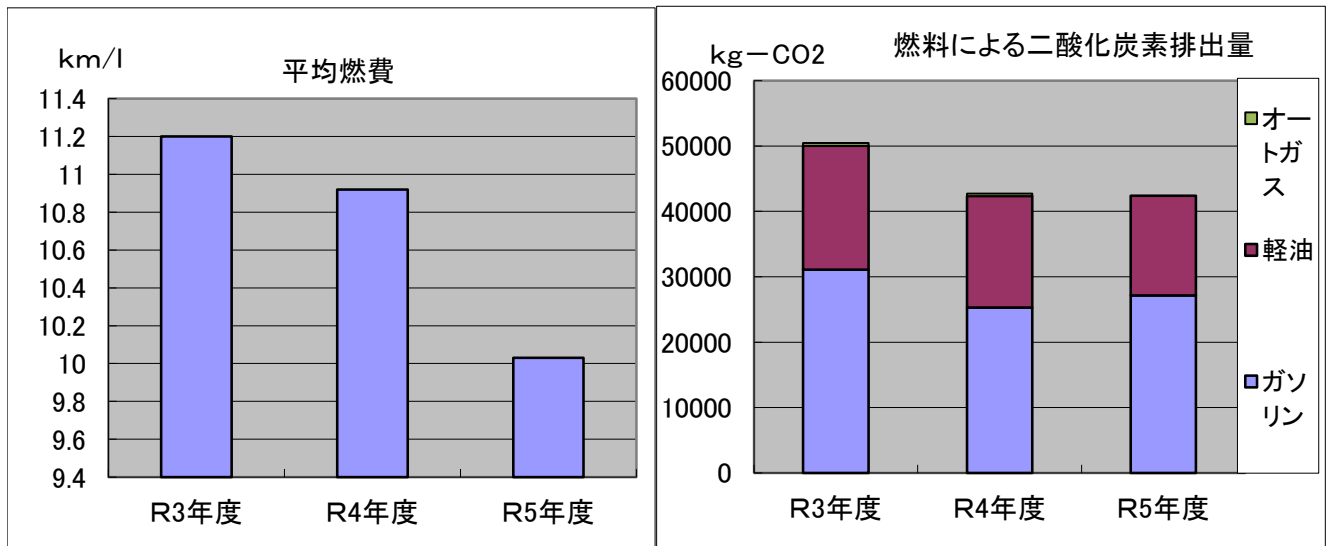
節電意識が高まり、倉庫内、事務所の電気をこまめに消灯し、電力削減の努力をした。GHPの更新により7.1%の温室効果ガス排出量の削減ができた。

＊ 化石燃料(ガソリン・軽油)使用の効率化

平均燃費	単位	基準	R3年度		R4年度		R5年度	
	km/l	11.30	目標	実績	目標	実績	目標	実績
			11.30	10.90	11.30	11.30	11.30	10.75
目標達成率			96%		100%		95%	
評価			△		○		△	

＊ 上記の評価は目標達成率が95%未満は× 95%以上100%未満は△ 100%以上105%未満は○ 105%以上は◎とする

＊ 算出根拠 0あたりの総走行距離数÷総台数(R4 204.25÷19)



取組実績

- ①当社は車両の月々の走行距離が一定でなく、ガソリン使用量に依る化石燃料の削減実績の把握が困難である為、車両別に給油量と走行距離を管理し、単位当たりの走行量を比較して燃費の向上に努めました。
- ②「各車両燃費実績一覧表」を回覧し、全社員が担当車両の数値を確認できるようになりました。
- ③各車両に「アイドリングストップ」のステッカーを貼り、急発進、急停止をしない、不要な荷物は乗せない等のエコドライブを心掛けた。
- ④エコアクション21のステッカーを工事車1台につき2枚貼り自ら意識を高めると共に周囲にも認識してもらう。
- ⑤社用車を順次、低燃費車に入替えて、燃料削減に努めました。
(総台数19 うち普通車×3 軽トラック×3 軽ボックス×2 トラック×8 ダンプ3t×3)
- ⑥実行委員を選任して、毎週月曜日の朝礼後に各車両のキャビン、荷台の整理整頓状況、車両整備状況をチェックして不備があれば是正指示を行った。
- ⑦オートガスの使用は令和5年末をもって廃止しました。

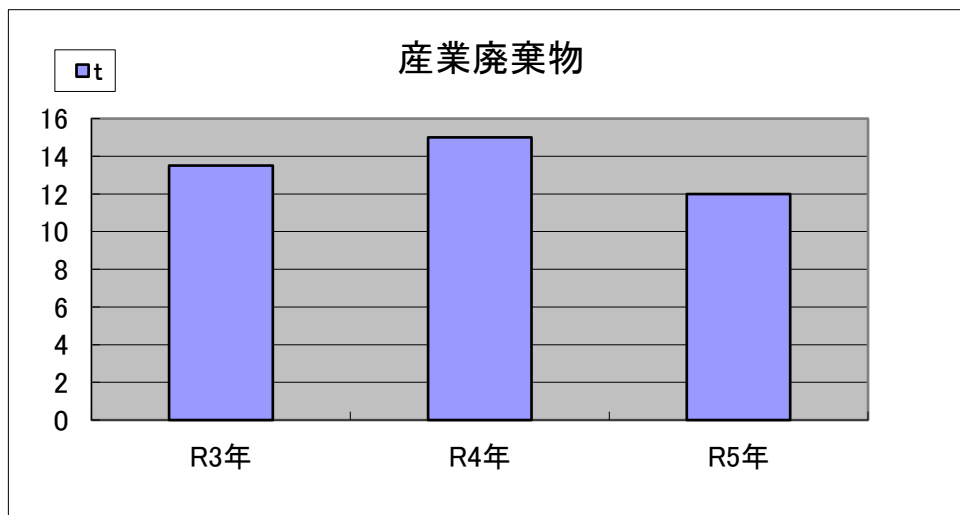
結果

- ①未だに不要な荷物を載せていたり、停車中にエンジンをかけたままの車両には依頼是正をさせた。
- ②周囲の認識は勿論、個人の意識の向上に繋がった。

② 産業廃棄物排出量の削減

産業廃棄物 処理量	単位	基準	R3年度		R4年度		R5年度	
	t	15	目標	実績	目標	実績	目標	実績
			15.0	13.5	15.0	16.5	15.0	12.0
目標達成率			111%		91%		125%	
評価			◎		×		◎	

* 上記の評価は目標達成率が95%未満は× 95%以上100%未満は△ 100%以上105%未満は○ 105%以上は◎とする



取組の実績

- ① 塩ビパイプの端材について、資源と廃棄物を分ける判断基準を設け、利用出来るものについては資材として積極的に利用しました。
- ② 分別処理を行い、塩ビパイプ、金属系廃棄物、プラスチック、ビニールについては他の廃棄物と分別してリサイクル業者へ処理委託し、リサイクルに努めました。
- ③ 梱包用の段ボール等は分別収集にてリサイクルに努めました。
- ④ 社内用のコピーは裏紙を積極的に使用しました。

結果

- ① プラスチックやビニール、発泡スチロールも分別し、リサイクルに努めた。
- ② ダンボール・雑誌等の紙類及び金属系廃棄物は回収に依るリサイクルに努めました。
- ③ ミスコピー、裏紙の利用が当たり前の事となりました。

廃棄物量(一般廃棄物)

可燃ごみ (kg)				ダンボール (kg)			
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
407	404	391	397	25000	23000	21000	22000

取組の実績

- ① 雑誌・新聞等の紙類は回収に依るリサイクルに努めました。
飲料用のペットボトル・缶は回収業者に引き取ってもらいリサイクルしてもらいました。
事業系一般廃棄物の処理は回収業者に委託缶は回収業者に委託しました。

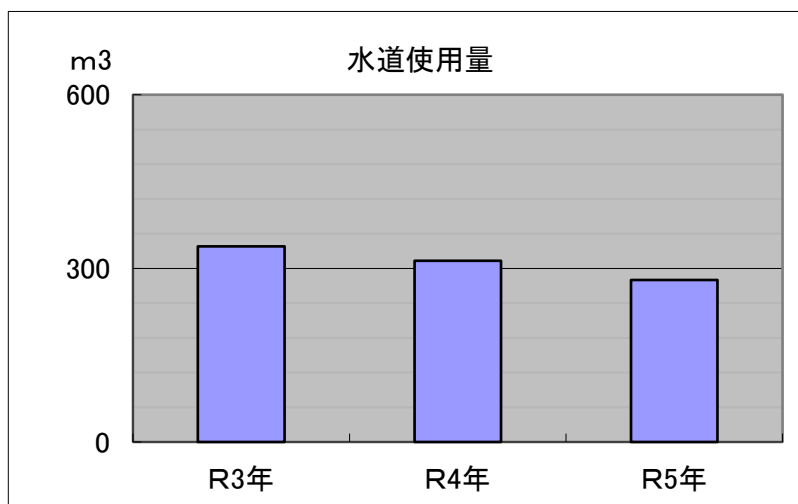
結果

紙類・ペットボトル・缶等の適正処理を行いました。

③ 水道使用量の削減

水道使用量	単位	基準	R3年度		R4年度		R5年度	
	m ³	378	目標 376	実績 338	目標 374	実績 313	目標 372	実績 280
目標達成率			111%		119%		133%	
評価			◎		◎		◎	

* 上記の評価は目標達成率が95%未満は× 95%以上100%未満は△ 100%以上105%未満は○ 105%以上は◎とする



取組実績

蛇口付近に『こまめに水を止めましょう』とステッカーで表示。
 水道水を流したままにせず、こまめに水を止めながら使用する。
 地下水メーターがついていない為使用量の確認不可。外水道、外トイレ、休憩室で使用。

結果

会社内の散水等には井戸水を併用しています。更に節水の意識の向上に努めます。
 令和5年末をもってオートガスを廃止した為、ドライバーが来所の際に利用していた水道量が減ったと思われます。

2 環境に配慮した商品の情報提供・販売

環境に配慮した商品の販売

環境目標	単位	R3年度		評価	R4年度		評価	R5年度		評価
エコジョーズ	台	目標	実績	◎	目標	実績	×	目標	実績	×
		53	56		53	41		53	37	
目標達成率		106%			77%			70%		

環境目標	単位	R3年度		評価	R4年度		評価	R5年度		評価
節水型トイレ	台	目標	実績	◎	目標	実績	◎	目標	実績	◎
		43	68		43	53		43	51	
目標達成率		158%			123%			119%		

環境目標	単位	R3年度		評価	R4年度		評価	R5年度		評価
高断熱型風呂	台	目標	実績	◎	目標	実績	◎	目標	実績	◎
		2	3		2	6		2	7	
目標達成率		150%			300%			350%		

* 上記の評価は目標達成率が95%未満は× 95%～99%は△ 100%～105%は○ 106%以上は◎とする

取組実績

- ① 顧客への商品見積提出時にはエコジョーズ・節水型トイレを標準仕様として提案をしました。
- ② 当社お得意様(顧客)向けの手配りチラシを毎月制作し周知に努めました。

結果

- ① リフォーム工事受注が好調に推移し、トイレと風呂の設置が増加した。
住宅新築工事の減少により、エコジョーズの納品数は減少した。
- ② 継続していきます。
- ③ お客様感謝祭に代わり、環境配慮商品を購入していただいた顧客を対象に利益還元祭を行った。

VII 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等などの有無

当社の事業活動において、遵守しなければならない環境関連法規、条例及びその他の規制を受ける事項を下記に示す。

環境関連法規と対象の設備の届出・管理業務・記録類

実施日：令和6年7月31日 確認者：谷川

法規・条例	規制事項	主担当部署	対象物・設備等 届出・管理業務	管理・ 測定頻度	遵守状況	備考
廃棄物処理法	産業廃棄物委託	監理室	委託基準遵守	都度 都度・5年間 年1回 年1回	○ ○ ○ ○	産業廃棄物管理票の交付・契約・許可書 管理票の保管 管理票未返却時の報告 交付状況報告
廃棄物処理条例				都度 年1回・5年間	○ ○	産業管理責任者の選任 現地確認・記録の保管
消防法	一般取扱所	燃料サービス部	設置許可申請書 入・出庫確認	毎日	○ ○	設置許可証
危険物	地下タンク 貯蔵所 (灯油)		設置許可申請書 給油確認・点検 入・出庫確認	毎日	○ ○ ○	設置許可証
			委託基準遵守	年1回	○	点検・報告
高圧ガス	高圧ガス 製造所	燃料サービス部	高圧ガス製造許可証 日常点検・月例点検 入・出庫管理	毎日	○ ○ ○	高圧ガス製造許可書 高圧ガス製造廃止届R6.2.19提出済
保安法	液化石油ガス 販売所		委託基準遵守	年1回	○	点検・報告
			販売事業許可申請書 入庫確認・販売管理	毎日	○ ○	販売事業許可証
浄化槽法	浄化槽	監理室	浄化槽設置届	都度	○	浄化槽管理票
			業者委託管理	年4回	○	定期保守点検・定期清掃
			業者委託管理	年1回	○	法定11条検査
建設リサイクル法	コンクリート	監理室	委託基準遵守	都度	○	産業廃棄物管理票
自動車リサイクル法	廃棄自動車	監理室	委託基準遵守	都度		A券 委託証明書
フロン排出抑制法	フロン	監理室	自社管理	3ヶ月1回	-	簡易点検
			業者委託管理	年1回	-	定期点検

上記の通り、当社における環境関連法規等過去の3年間確認した結果、違反、訴訟はありません。
又、関係機関等からの指導、指摘ありません。

法律上の資格を有する人材または社内の管理責任者

該当する国家資格・講習終了者	管理業務	設備名	該当部署名	監督者
高圧ガス製造所 保安係員	施設定期監視 入出庫確認	高圧ガス製造所	燃料サービス部	森下 真琴
危険物保安監督者 (危険物取扱者の業務)	施設定期監視 入出庫確認	危険物施設等	燃料サービス部	森下 真琴

令和 7年 2月 25日
森下商事株式会社
代表取締役 森下 真琴

VIII. エコアクション21「全体の評価と見直し・指示」

環境経営方針

評価

現状が企業が行う経済活動では、それが環境に及ぼす影響の縮小化と同時に達成されるものでなくては企業の社会的責任を全うしていることとはなりません。経済活動そのものが環境向上に寄与するものであれば、社員の使命感の高揚にも繋がります。

当社は地域のライフラインを担うエコアクション認証企業として環境の保全と向上に貢献すべく、引き続き出来ることを徹底的にやり続けて行きたいと思いをします。

見直し

これまでの環境経営方針に基づき、継続して環境保全に努めて参ります。

環境経営目標

評価

当社に於ける環境経営目標の指標としては適正だと考えます。

見直し

引き続き良い結果が得られるよう、社員各自の活動意欲の高揚を図れるような目標値を設定したいと思います。

環境経営計画

評価

環境改善活動への社会的要求は益々膨らんできており、無意識の内にも環境保全活動に繋がっている様な仕組みづくりが必要であると思いをします。

見直し

エコアクションの活動を、日常業務の作業手順の一部として標準化し組み込んで行きたいと思いをします。

環境関連法規遵守状況

評価

遵守できています。

外部苦情

評価

本社周辺及び建設現場周辺住民からの苦情要望はこの1年ありませんでした。